

梅田川・水辺の楽校協議会
会長：新治小学校校長 岩佐道明

問い合わせ先
横浜市立新治小学校内
TEL. 045-931-2061
FAX. 045-934-2985



この新聞は、財団法人 河川環境管理
財団の助成金を受けてつくられてい
ます。2004. 7作成



ホタルのエサになるカウエナです。業者の盗掘からみんなで守ってね!



にいほる野菜直売所

編集後記 久しぶりの新聞の発行で大変お待たせしました。梅田川を取り巻く環境はここ数年大きく変わってきています。環境面では水田保全ボランティアのみなさんのおかげで今年の6月には例年になく多くのホタルが観察できました。とても感動的でした。また、市民の森愛護会のみなさんの努力によって森が明るくなり、山野草が多く見られるようになりました。しかし、盗掘も多くなりヤマユリが急に見られなくなりました。また、3年前から始まっている三保町の宅地開発で多くの森が無くなり、私が小学校の頃、通学路にしていた天神山（昔、カブトムシがいっぱいとれた雑木林）の道が無くなってしまいました。したがって梅田川流域マップも書き換えなくてはなりません。とても悲しいことです。明るいニュースとして水



新しく改定された流域マップ

辺愛護会が設立し、とても力強いことだと思っています。また、旧奥津邸活用実行委員会では奥津邸を拠点に里山の力を借りて、市民が環境保全ならびに、地域づくりのための利用方法を検討しています。私も実行委員のメンバーですが、各団体が自然環境が残っている新治・三保をベースに市民と行政がコラボレーションできる場、ならびに仕組みづくりのため、これからはお手伝いしていきたいと思っています。

杉崎由直



三保小学校周辺の天神山

昨年の活動を振り返って 河川改修工事が完了し、梅田川は整備から管理が大きな課題となる河川となり、平成15年4月、神奈川県から権限移譲を受け、市長管理の河川になりました。

協議会も、子どもたちの水辺の遊び・自然体験を支える仕組みづくりが、周辺の自治会、学校・PTA、市民団体の皆さんの協力で連携がしっかりしたものになりました。

活動も「ほたるの飛び交う川を目指す」勉強会、市内の水辺見学会、利用管理のワークショップなど様々な取り組みが行われてきました。水辺の良好な維持管理をすすめる「メダカひろば水辺愛護会」が設立され、クリーン活動・流域の環境保全へと活動が発展してきているように思います。

こうした協議会の活動が評価され、神奈川県で、社団法人「日本河川協会」の河川功労賞を受賞、5月25日、東京の砂防会館で行われた表彰式には愛護会の金子さんが岩佐会長の代理で出席しました。

6月21日には、横浜市環境保全局の環境保全活動賞の表彰式が市役所で行われ、新会長の新治小の岩佐校長、副会長の近藤さんの二人が出席し市長から表彰されました。

これからも、梅田川の多様な生き物が、安心して生息できる水量・水質の保全、良好な水辺環境を目指し、流域の豊かな自然を守るために活動を継続し発展できるように力を合わせて、がんばっていきましょう。

今後の活動予定

*すでに日程が決まっているもの

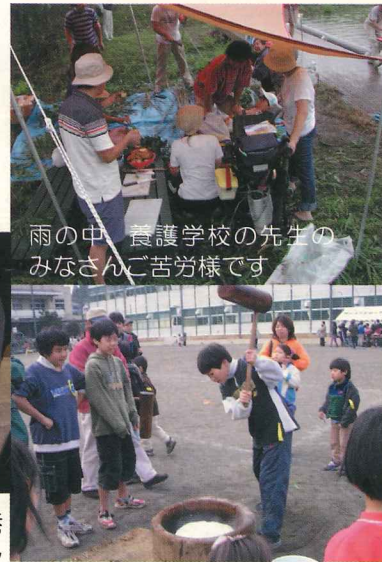
- 9月19日(日) 梅田川クリーン活動
- 12月 4日(土) 梅田川をまるかじり

*その他

- 環境保全・水質保全のための勉強会
- 流域の現況調査
- 市内の水辺見学



梅田川まるかじり



雨の中、養護学校の先生のみなさんご苦労様です

梅田川 水辺の楽校新聞

梅田川・水辺の楽校新聞編集部

第11号
発行日2004/8/01

梅田川流域活動エリアマップ

旧奥津邸
一本橋メダカひろば
新治小学校
田んぼお助け隊の活動場所
くるみ橋杉沢堰
親子で竹伐
梅田川
三保町
動物公園予定地
三保市民の森
地権者の方と間伐作業
東洋英和女学院大学
池ぶち広場
水田保全ボランティア
霧が丘
新治市民の森
新治町

目次

梅田川流域活動マップ	1
会長のご挨拶	1
一本橋メダカひろば水辺愛護会のご紹介	2
新治小PTAのご紹介	2
ボーイスカウトのご紹介	2
旧奥津邸活用実行委員会のご紹介	2
新治市民の森愛護会のご紹介	3
にいほるの谷戸あそぼーいのご紹介	3
水田保全ボランティアのご紹介	4
忘れられない梅田川と仲間たち	4
梅田川のさかなたち	5
梅田川のほとりいまむかし	5

ハイライト

- 梅田川流域活動マップ
- 活動団体のご紹介
- 梅田川のさかなたち
- 梅田川のほとりいまむかし

梅田川水辺の楽校協議会会長のご挨拶

今年度の人事異動で、青葉区谷本小学校より新治小学校に転任してまいりました岩佐道明と申します。前会長で校長の三浦先生から、豊かな自然の残る新治では、“梅田川水辺の楽校”を中心として、児童の好ましい成長に役立つ活動が、行政や地域の方々で行われていることを聞き、新治小学校の子ども達が、生き生きと健全な成長をしてい



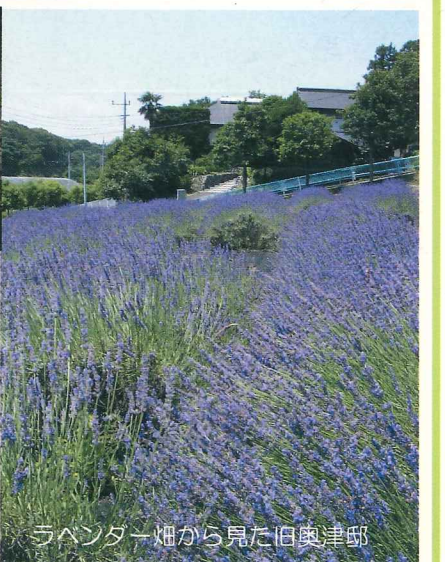
岩本先生カンパッテ!



岩佐校長先生

る影には、このような皆様のお力のあることを知りました。校長として本当にありがたく、感謝申し上げます。水辺の楽校の様々な活動に、学校も協力して参加することにより、貴重な自然を守り活用することを学ばせたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

横浜市立新治小学校校長 岩佐道明



ラベンダー畑から見た旧奥津邸

一本橋メダカひろば水辺愛護会のご紹介 “水辺美化活動”を行いながら、“子どもの心身の健全な発達に寄与すること”を目的とした“一本橋メダカひろば水辺愛護会”です。昨年12月21日を第1回目として活動を正式に開始しました。新婚カップルさんといった若い人も多く、やる気満々です。そこで、活動エリアを“一本橋メダカひろば”から“杉沢堰上流の広場”までと欲張りしました。金子を代表者として、6月22日現在、16名です。昔、川で楽しんだ経験を持つ者が会員となり、今の子どもたちにとっても同じように楽しめる梅田川にして行くのがメンバーの夢です。



横浜市立新治小学校PTAのご紹介 会長 木村晶子
実行委員会（役員・委員長・校長）と4委員会（成人教育・広報・保健給食・校外指導）のメンバーが中心となって、「教育の効果をあげる」ことを目的に様々な事業を行っています。‘運動会’や‘新治わくわく祭り’など行事の手伝いの他、実行委員会や各委員会が主催する講習会・講演会、子どもの安全を守るための活動が主なものです。会員の教養を高めたり親睦を深めること、そして地域と学校をつなぐパイプ役になれることも目指しています。



いつも裏方でご苦労様です



さあみんなで川のお掃除2003.12



梅田川魚類調査中

ボーイスカウト横浜125団のご紹介 代表者 磯辺磨梨子 中山周辺で活動をしているボーイスカウト横浜125団です。ボーイスカウト活動は園児（年長）から大学卒業年齢までの青少年を対象とした教育活動です。それぞれの年齢に合わせた一貫したプログラムを、野外活動・ゲームなどを通じて体験として学び、そこから自主性・協調性・探求心などを育て社会に役立つ人間を育てる自発活動です。現在125団では約60名ほどのスカウトが活動しています。規律ある団体活動を通じて、また保護者の方も一緒に参加して子ども達を育てられる楽しい活動です。ご関心のある方は是非ご連絡ください。連絡先カブ隊隊長 村山富美子 TEL042-721-6155



子ども川の日 2004.7

水鉄砲は楽しいね



長谷川さんいつもご苦労様!



今年もイカダ遊びは大人気

旧奥津邸活用実行委員会のご紹介 横浜市に寄贈された「旧奥津邸」の活用策を検討する会議を、平成15年8月から公募による参加者と地域の関係団体の代表者により行ってきました。平成16年4月からは、アイデアを実行に移していこう、という思いを含め、「旧奥津邸活用実行委員会」となりました。「旧奥津邸」をさらに魅力的な場所にするための活動を展開していきます。連絡先：西部公園緑地事務所 TEL 351-5024



旧奥津邸活用実行委員会



旧奥津邸敷地内調査



土蔵の中を見学

新治市民の森愛護会のご紹介 平成12年3月26日オープンしてから5周年を迎えました。活動内容も多岐に渡り、技術も道具も会員も充実してきました。また、横浜市が主催する里山講座のお手伝いや、講座からたくさんの方々が愛護会に入会され愛護会は活気に満ちております。今年は地権者の平本善造さんの山で間伐の研修をさせていただき、植林のお手伝いもさせていただきました。これからも森作りの活動を会員一同頑張っていきたいと思えます。愛護会事務局 ホームページ <http://homepage3.nifty.com./NIIHARU/>



シンボルタワー用に使う巨木をみんなでコロを使って森から大移動



子ども森の日



里山講座サポート



山林火災消火訓練

にいのはるの谷戸あそび一会のご紹介 代表者 沢田清美 「にいのはるの谷戸あそび一会」は1998年2月に生まれて今年7年目になります。誰でも参加できる自由な遊び場を毎月1回、第3日曜日に三保念珠坂公園で開催しています。焚き火で鍋料理、手づくりハンモックやベーゴマは常時あり。赤ん坊から中学生までたくさんの地域の子もたち、大人たちが常連になっています。お父さんの参加が多いのも会の特徴です。この会がこれまで地道に続いて来た理由には、子どもを自由に遊ばせることの出来る「森、斜面そして梅田川」があり、子育てを共有できる「人々の出会い」があったからだと思います。みなさんも気軽にお立ち寄り下さいね。



ベーゴマ遊び



20センチもあるモクスガニ



梅田川子ども川の日2004.7



梅田川まるかじり2003.12 みんなでお正月のお飾りづくり



田んぼお助け隊2004.6

吉田さんと新治小の5年生のみなさんです。



今年は多く魚類が観測されました。

水田保全ボランティアのご紹介 横浜の里山
 景観の原風景といえる旭谷戸奥の貴重な水田を
 守るため、平成14年春から100人を超えるボ
 ランティアのみなさんが、農家の方のご指導を



を受けながら水田保
 全活動に取り組ん
 でいます。当初は
 メンバーの半数以
 上がまったくの稲
 作初心者でした
 が、今年は3年
 目。今年はボラン
 ティアのみなさん
 によって苗をすべ
 てから大切に育て
 上げ、6月5日には
 「国際こども食料
 会議」の子どもた
 ちに田植えを指導
 し、参加した子ど
 もたちからも大変
 喜ばれました。こ
 れからも活動を通
 じて季節の移り変
 わりをみんなで感
 じながら、水田を
 見守っていきます。
 緑区役所区政推進課 赤荻道子



忘れられない梅田川と仲間たち 今年の蛍の状況はいかがだったでしょうか。新治小学校から立野小
 学校に異動して3ヶ月がたちました。梅田川はいい川です。思い出がたくさんあります。

平成11年の第1回梅田川水辺の学校協議会でのことでした。私が会長に決まったのです。「それはない
 だろう」と驚きました。協議会について何も知らない者に、どうして会長が務まるのでしょうか。務まるはずがないと思
 いました。それから5年間、驚
 いたことに、なんとなく私で会長が務まってしまったのです。それは、ひと
 えにメンバーの皆さんのお陰でした。協議会には活発な意見の応酬がありま
 した。活動を推進する活力がありました。そして、大きかったのは行政の支
 援でした。事務局を担当してくれた下水道局の河川計画課の方々をはじめ、
 緑区役所、緑政局、緑土木の皆様のご力があってこそその活動でした。



川底にタモ網を固定し、そこに片足で魚を追い込むときの
 川水の感触。タモ網に小魚がびちびちと跳ねているのを確
 かめたときの興奮。主役の子どもたちを押しつける
 ほど夢中になったことを思い出します。ホトケド

ジョウやシマドジョウといったドジョウがいるということも、ホトケドジョウの興
 味深い生態なども、梅田川で初めて知ったことでした。「どじょう子引越し大
 作戦」「バック・ツー・ザ梅田川」がテレビや新聞で報道されたことも嬉しい思い出
 です。

冬の日、外水道の蛇口が凍って動かない朝に「梅田川を丸かじり」の谷戸鍋の準備
 をしたPTAの会長の木村さんをはじめとする皆さんの頑張りも思い出されます。連合
 自治会長の仲丸さんの発案で始まった谷戸田の再生も楽しい思い出です。芦垣さんや平本さ
 んたちの指導の下に加藤さんの水田をあら起こしたとき、様々な鳥が集まってきて我々の隙をついては
 虫をついばもうとしたことに驚いたことも鮮明に思い出します。田植えや草取り、稲刈りに子どもたちと競
 争のようにして取り組んだのもつい昨日のことのようです。

近藤さん、金子さん、吉田さん、杉崎さん、そのほか様々な方の顔が思い浮かんできます。どなたも子ど
 もたちのために一生懸命でした。でも、共通して、どなたにも少年の心が残っていて、実は、川や田んぼ、
 森などの自然に触れて遊ぶことを自ら楽しんでいるようなところがあると感じられるのです。

自分たちの町を愛する心がありました。夢もありました。長谷川さんなどは、蛍を増やしたいという強烈
 な夢をもって、梅田川水辺の楽校協議会の活動にそれを組み入れようとされました。

思い出は尽きません。梅田川と関わった5年間は夢のような楽しい時間でした。私には、同じ横浜市内な
 がら梅田川は遠い場所となってしまいました。しかし、梅田川水辺の楽校協議会は、多少の困難を乗り越え、
 これからも夢のある活動をますます発展させていくことと思います。機会を作って、梅田川を訪れたいと
 思っています。皆様、本当にありがとうございました。皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

前会長 三浦和弘

梅田川のさかなたち 鶴見川とその支流全体(鶴見川水系)では
 、海水魚をふくむ約50種類の魚が確認されており、主な支流である恩
 田川にはその内の10~20種類程度、そして梅田川には15種類程度が
 生息し、その上流域にあたる新治小学校付近では、杉沢堰周辺の改修工
 事前に「梅田川を楽しむ会」が行った調査より、10種類程度の魚が棲
 んでいることがわかっています。なお、新治小学校付近で種類数が若干
 減る理由は、JR横浜線の直ぐ下流に農業用の堰があり、多くの種類の
 魚は、それよりも上流に遡上することが出来ないためだと考えられま
 す。



さて、それでは杉沢堰周辺の河川改修が終わった現在の新治小学校付近ではどのような魚がみられるで
 しょうか？平成16年5月の調査では、表に示す7種類の魚類が確認されましたが、改修前にみられたコイ
 やギンブナ等は全くみられなくなり、改修直後には多くみられたオイカワも極端に数が減ってきたことが
 わかりました。また、堰周辺の改修前には多かったタモロコやドジョウも、現在では非常に少なくなった印
 象を受けます。

しかし、一方で、谷戸の代表的魚種であるホトケドジョウは、稚魚から成魚までが
 相変わらずたくさんみられるとともに、元々梅田川の代表的な魚種であったにもか
 かわらず、近年は数が減っていたアブラハヤも、以前よりは普通にみられるようにな
 ってきたようです。また、シマドジョウやトウヨシノボリ等の川底に棲む魚類(底生
 性魚類)が、増えてきたのも最近の特徴といえます。

底生性魚類が増えてきた理由としては、川底が以前のような泥底ではなく、流速も
 若干早くなるとともに、砂礫混じりのきれいな川底に変わってきたためであること
 が考えられます。また、その反面、ドジョウなどが好む泥っぽい環境が少なくなり、
 フナやコイが好む淵などの水深が深い場所が無くなってしまったともいえます。



いつもお世話になって
 いる酒巻さんです

以上、このような魚類の生息状況の変化をみて、梅田川が悪くなったのか、それとも良くなったのかにつ
 いては、なかなか判断が難しいところがあります。私個人としては、今のところ「現在の梅田川は、水田の
 減少など、時代とともにメダカやドジョウ・フナ等の里山的な魚は少なくなったが、改修工事による影響が
 収まったことによって、ホトケドジョウやアブラハヤ等、少数の魚類によって構成される「谷戸の川」とし
 ての本来の姿に戻りつつあるのではないだろうか。」とも考えています。皆さんはどう思うでしょうか？ぜ
 ひ昔の梅田川を知る方々のお話を伺ってみたいと思っております。

環境カウンセラー 酒巻一修(梅田川を楽しむ会)



梅田川のほとりいまむかし お滝さまのことなど その3 実は堰神さまを見に行ったのは杉沢堰のことを
 昔から“お滝さま”と呼んで杉沢堰なんて誰も呼ばなかったのが、その由来解明の手掛かりが何か得られ
 るかも知れないと思ったからである。実家の隣の86才のお婆さん

(筆者より年上の方はこの方だけ)に聞いたが由来なんて聞いたこと
 も考えたこともない、知らないという。別な日に小学校の裏から堰跡
 へ対岸の山裾(用水路の通っていたあたり)を観察しながら歩いてい
 いた時、堰から50メートル位の所に崖のようになって岩場が露出して
 いた。私が前から探していた昔杉林の中にあつた穴倉がかった大きな
 崖=岩が露出して一年中湧き水が流れ、大雨の後などは湧水が吹き
 出し岩角から小さな滝みたいに勢いよく何本も落ちていた、冬はこ
 どもの腕くらい太さの長い氷柱(つらら)が何本も垂れ下がって
 いて、棒で叩き落として“あめん棒”と遊んだ。この崖の土は壁土に適
 しているようで父が掘って使ったことがあると聞いていた=ではないか、いまは水は全く流れていない
 が、みているうちに昔の様子がまざまざと浮かんできた。河川改修工事の結果、用水路跡に近接していた
 昔はもっと奥にあった。昔の人は滝に対して信仰のようなものをいだいていた。水神、山神信仰と同じよ
 うな自然神信仰である。三保町の薬師谷戸バス停近くの川に小規模の岩場があって水が落ちていたのを昔
 “お滝さま”と呼んでいたことを思い出した。梅田川のこの崖も昔はもっとたくさん水が噴き出し流れ落
 ちていたに違いない。それで誰いうとなくここを“お滝さま”と呼ぶようになっていたに違いない。杉沢
 の堰を築いたとき“お滝さまのこの堰”と呼びあっているうちに省略して“お滝さま”と呼び、
 それで通じるようになったのではないかと私なりに結論づいた。おわり



薬師谷戸のお滝さま

杉崎時秋